

2021年6月

No. 42

書道教室 薬院 一凜
sho-do ICHIRIN

繼續は力なり



月刊
一凜



夢は美一ヨガヨ、
希望は高キヤヨ、
夢も希望も捨てなければ
必ず近づリケル

刻マゲヨ、



目的は高キヤヨ、そのための
一里塚ノイ目標を定マゲヨ、
ナクそのために時を

月刊一凜 No.42 (2021年6月)

《競書審査員》佐々木峯雲 《発行》書道教室 一凜 薬院 《小作品査定員・制作》野口昌芳(NS)



書道教室 薬院 一凜
sho-do ICHIRIN

〒810-0022 福岡市中央区薬院3-7-25 原ビル2F
TEL / 092-791-7251 FAX / 092-791-7786
<http://www.shodo-ichirin.com/>

緊急事態宣言下の今年二月、自民党三議員が銀座のクラブなどをハシゴ訪問し「銀座

三兄弟」と揶揄されました。国民に会食の自粛をお願いしているのに、言い出しつべがイタリヤ料理店や銀座のクラブ三昧。この報道に

対し、日本医師会会长が、提案した人が率先して物事を始めるべきとの意味で「先ず隗より始めよ」ですと、苦言を呈しました。

「先従隗始」も中学の漢文で習った中で好きな故事の一つです。

隗曰はく、「古の君に千金を以つて涓人を

して千里の馬を求めしむる者有り。死馬の骨を五百金に買ひて返る。君怒る。

郭隗が言うには、「昔の君主に一千枚の黄金で側に仕える者に一日千里を走る名馬を買い求めさせた人がいました。死んだ馬の骨を五百枚の黄金で買って帰りました。君主は怒りました。

涓人曰はく、「死馬すら且つ之を買う。況や生ける者をや。馬今に至らん。」と。期年ならずして、千里の馬至る者三あり。

側に仕える者が言うには、「死んだ馬でさえ買うのです。まして生きている馬なら、言うまでもないでしょう。馬はすぐにやつてくるでしょう。」と。まる一年も経たないうちに馬が三頭もやつてきました。

先従隗始

今、王必ず士を致さんと欲せば、先ず隗より始めよ。況や隗より賢なる者、豈に千里を遠しとせんや。」と。是に於いて昭王隗の為に改めて宮を築き、之に師事す。是に於いて士争いて燕に趨く。

もし、王がどうしても優れた人物を招き寄せたいと思うのなら、まず私からお始めなさい。まして私より優れた人物はどうして千里の道のりを遠いと思うでしょうか。」と。それで、昭王は隗のために邸宅を新築し、これに師事した。こうして優れた人物が争つて燕にやつて來た。

四月のまん延防止等重点措置の適用中に、あれ程「銀座三兄弟」を非難していた日本医師会会长自ら自肅違反（政治資金パーティーに出席）をする始末。人（国民）に厳しく自分には甘いと言われても仕方のない行動でしよう。

このことを「他山の石（誤った使い方をしていました某党の重鎮がいたような）」として今月のいちりん通りの窓からで自ら提案していることをしっかりと実行して、皆さんから「先ず隗より始めよ」ですと指摘されないようにしようと思っています。

佐々木峯雲

墨を擦る

岡田 雄希

文 =

ストーリー展開は定番、どの

回も黄門様一行が偶然トラブルに巻き込まれて、これまで

た一目でそれとわかる悪役が登場して悪事を働くこと

する。これを黄門様が事前に察知して事なきを得る内容だ。

毎日、見ておられるおかげでドラマ開始35分ごろになると決まったセリフがあることに気づいた。悪人のイジメに

き、やはり時代劇は素晴らしいのである。

時代劇はいい

神の視点にいる私を含む視聴者は、あと少しで誰だか分かるよと思う。続いて助さん格さんに「懲らしめてやりなさい！」と命じて大立ち回りがあり、再び黄門様が「もう、いいえーい」と葵の紋所付きの印籠を出して、悪党どもがひれ伏し

て一件落着となる。

不思議なことに展開は分かつていてもカタルシスを感じる。若い頃は、他人に命じて悪人を懲らしめるなんて卑怯な爺さんや！と思っていたが、今は黄門様のように頼り甲斐がある部下が欲しかったと真逆のことを考

えている。

齢を重ね、書を習っているおかげで新しい発見もあつた。知らなかつたの？ 言われるかもしれないが、水戸黄門も大

岡越前もタイトルの題字が臨済宗の高僧として知られた朝比奈宗源老師によるものだった。キリツとした良い字だ。

一凛門下生としても毎朝良い字を見て勉強することがで

昔、年寄りがテレビの時代劇を熱心に見ているのをみて何が面白いのかと思っていた。ところが、自分が歳をとつて時代劇をゆつたりとした気分で、長い時間をかけて見ていることに気がついた。楽しめるのである。

特に有料チャンネルの「水戸黄門」や「大岡越前」などは在宅勤務のおかげで業務用パソコンを立ち上げた後、仕事をしながら鑑賞するのが午前中のルーティンになつていて。

中でも、私のお気に入りは水戸黄門だ。いま放映しているのは、第二代の西村晃さんバージョン。黒澤明監督の映画「用心棒」

などでキャラの濃い悪役イメージが強かつたが、頼り甲斐がある好々爺役ぶりがピッタリとはまつてゐる。

毎日、見ておられるおかげでドラマ開始35分ごろになると決まったセリフがあることに気づいた。悪人のイジメに

おかげで

ゆうき／

昭和33年3月20日、

北九州市生まれ。平成

23年12月に一凛に入

門。趣味は自転車と

酒を飲むこと。酒は誘

われたら断らないが

モット。



《挨拶》

現在のマンションに住み始めて30年近くになります。これほど長い間住んでいると、マンション住人のほとんどの方が顔見知りです。至極当たり前のことですが、エレベーターに乗り合わせた時やエントランスでお会いした時などは“挨拶”を交わし合います。しかし稀にですが、“私に関わらないで!”と言いたげに、目も合わせず無言で逃げるよう去っていく方に遭遇します。こんな態度をとられた時、「感じ悪く!」「二度と挨拶なんかしてやるもんか!」と“器の小ささ”気持ちになるのは私だけではないと思います。

人間の悩みは、すべて対人関係の悩みである。と心理学者のアルフレッド・アドラーは指摘しています。

人と人の結びつきで大切な事の一つが“挨拶”ではないでしょうか。『おはようございます』『こんにちは』と「誰にでも」「自分から」「相手を見て」「笑顔で」「元気よく」挨拶をすることが、対人関係を作るための基本だと思います。仕事が出来る人は挨拶をきちんと出来ると私は思います。

一凛に来られた際、私の机の前で一礼し、「宜しくお願いします」と丁寧な挨拶をされる方が何人もいらっしゃいます。とても素敵です。しかしながら、真逆の態度の方もないことはありません。とても残念です。

閉塞感漂う現在、皆がストレスを溜め込んでいます。こんな時だからこそ、今まで以上に元気な“挨拶”をして、お互い少しでも心豊かになればと思います。如何でしょうか。

率先して“挨拶”的徹底を心掛けますので、皆さんも引き続き宜しくお願い致します。

書道教室 一凛 薬院
佐々木峯雲



COVER ART
Miki Furukawa

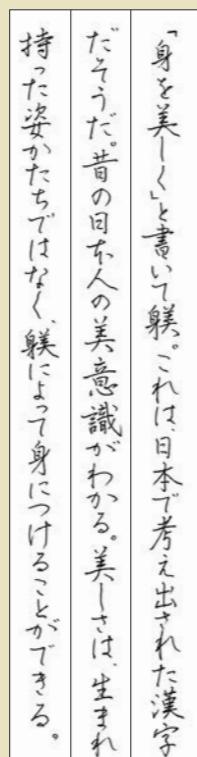
6月分課題

6月分課題は昇段・昇級審査対象課題となります。

提出期限予定日は7月10日(土)です。

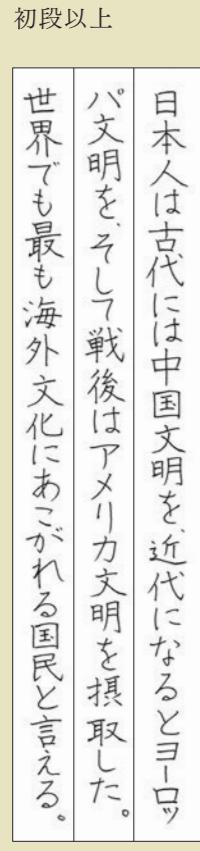
日頃の練習の成果を十分に発揮し、昇格を目指して頑張りましょう。

硬筆



池水は濁りにごり藤なみの
影もうつらず雨降りしきる

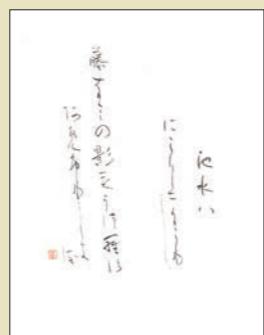
持った姿がたちではなく、美によつて身につけることができる。
「身を美しく」と書いて羲。これは日本で考え出された漢字



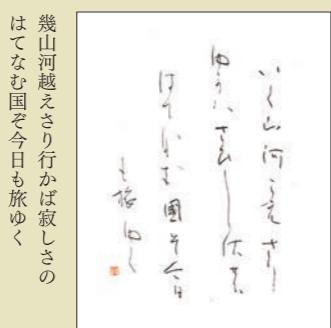
世界でも最も海外文化にあこがれる國民と言える。
パ文明を、そして戦後はアメリカ文明を摸取した。

10級～1級

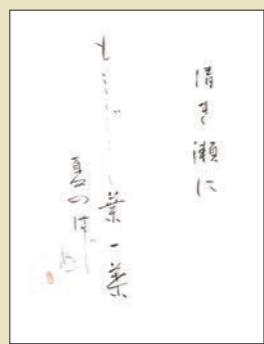
かな



六段以上



六段以上 (草書)

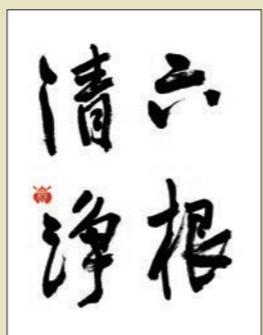


初段～五段 (行書)



10級～1級 (楷書)

漢字



六段以上 (草書)



初段～五段 (行書)



10級～1級 (楷書)

- 配布された手本に間違えがないか、
上記課題一覧を必ず確認してください。

受験料 六段まで…1課題 500円／準師範以上…1課題 800円

※選択受験をする方は申請書の提出が必要となります。

※令和3年2月の昇段・昇級試験後から令和3年5月までの3ヶ月の間で、課題の未提出が1回以上ある方は受験不可となり、課題提出のみの扱いとなります。

- 硬筆の添削に関して

初段以上の方の添削は毎月1回限りとします。

十分練習を重ねて仕上げた作品を添削依頼してください。

いちりん で 伝 え る 。 いちりん で 繋 が る 。

Ichirinogram

墨文字でウェルカムボードを作りました

日曜日 B クラス 齊藤麻理子

結婚式のテーマは『感謝』。

私なりに思いを伝えるため、墨文字でウェルカムボードを作ることにチャレンジしました。

先生にいくつか手本を書いて頂きましたが、そのなかでも柔らかさと力強さがでていたところが気に入り、この書体に決めました。基本に立ち返るのはもちろんのこと、一つ一つの線や全体のバランスにこだわって書きました。

筆で数字を書くことがほとんどないので、日付を書く時はかなり苦戦しました。

書く時は毎回手が震えるほど緊張しましたが、練習の甲斐あって納得のいく作品を仕上げることが出来ました。



本来は1月に結婚式の予定でしたが、式の2週間前に緊急事態宣言が発令され、延期を余儀なくされました。とても落ち込みましたが、たくさんの方に励ましのお言葉を頂いて、前を向くことができました。

画面ごしではなく、顔を合わせて感謝の気持ちを伝えることの大切さ、喜びを改めて感じた一日となりました。